

1. 事業評価説明シート

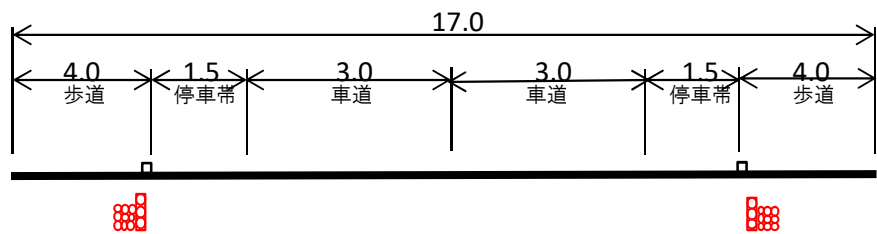
事業名	街路事業 [街路事業 (国補)]	事業箇所	甲斐市龍地	地区名	(都) 滝坂下今井線	事業主体	山梨県						
<p>(1) 事業概要</p> <p>①課題・背景 (都) 滝坂下今井線は、甲府市と韮崎市を結ぶ延長約2.7kmの都市計画道路であり、第2次緊急輸送道路に指定された幹線道路である。また、本路線は、双葉東小学校の通学路となっており、地域住民の生活道路として重要な役割を担っている。当該区間は電線類の地中化が未整備の区間となっており、緊急輸送路としての役割を強化するとともに、歩行者の安全性の向上及び良好な都市景観の形成を促進するため、電線共同溝の整備を行う必要がある。</p> <p>②整備目標・効果</p> <p>□主要目標 ○都市災害防止 緊急輸送路の指定 あり (第2次緊急輸送路) 自動車交通量 12,788台/12h (H27センサス) >3,428台/12h以上※ 他事業との連携 整備済み区間に連続する区間 あり</p> <p style="text-align: right;">※評価基準値</p> <p>□副次目標 ○歩行者等の安全性の確保 歩行者・自転車交通量 756人台/12h (H27センサス) >93人台/12h※ 自動車交通量 12,788台/12h (H27センサス) >3,428台/12h※ 通学路の指定 指定あり 現況の歩道幅員 4.0m > 1.4m</p> <p style="text-align: right;">※評価基準値</p> <p>□副次効果 ○ライフラインの強化 (電線共同溝による電線、通信回線等の統合整備) ○緊急時の避難・救助機能の確保 (緊急輸送路の整備) ○被災時の被害波及の防止 (緊急輸送路)</p>				<p>(3) 事業の妥当性評価</p> <p>①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 地域の重要な生活道路であると共に、甲府市と韮崎市を結ぶ幹線道路であり、第2次緊急輸送道路にも指定されている。社会的受益は大きく極めて公共性が高い。 <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) 当該路線は、都市計画道路であるとともに県道でもあることから妥当である。 <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>③経済妥当性 ※電線共同溝事業であり、費用便益の算出規定がなく、評価に馴染まないため不算出</p> <p>④事業実施・規模の妥当性 既整備区間に隣接した工区であり、未整備区間を事業範囲としているため妥当な規模である。 <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>⑤整備手法の有効性 現場条件等から採用可能な電線共同溝方式としている。 <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>⑥環境負荷等への配慮 電線類地中化による環境への負荷はない。 <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>⑦事業計画の熟度 第7期無電柱化推進計画における事業箇所として、電線管理者と協議が行われており熟度は高い。 <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p style="text-align: center;">総合評価 [貢献度ランク: a] <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p>									
<p>(2) 整備内容と整備量</p> <p>①整備内容 電線共同溝 L=980m (両側L=1,960m)</p> <p>②着手年度 令和3年度 ③完成見込年度 令和12年度</p> <p>④総事業費 約850百万円 (国費468百万円 (5.5/10) 県費382百万円 (4.5/10))</p> <p>⑤年度別の整備内容 (事業費)</p> <table border="0"> <tr> <td>令和3年度</td> <td>設計</td> <td>20百万円</td> </tr> <tr> <td>令和4年度～令和12年度</td> <td>電線共同溝工事</td> <td>830百万円</td> </tr> </table> <p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p> <p>⑥既整備内容・期間・事業費 既整備 (都) 滝坂下今井線 (Ⅱ期工区) L=560m W=17m H22~R1 約8億円</p>				令和3年度	設計	20百万円	令和4年度～令和12年度	電線共同溝工事	830百万円	<p>【事業位置図等】</p> <p>The map shows the project area in Aomori City, specifically the area around the 'Aomori IC-JCT' and 'Fukuchi River Bridge'. The planned route is highlighted in red, with a length of L=980m (both sides L=1,960m). Existing infrastructure is shown in black, with a length of L=560m (both sides L=280m). The map also shows the 'Shin-Yamanashi Ring Road North Section' and various landmarks like 'Aomori IC-JCT' and 'Fukuchi River Bridge'.</p>			
令和3年度	設計	20百万円											
令和4年度～令和12年度	電線共同溝工事	830百万円											

2. 添付資料シート

【平面図】



【標準横断面図】



【写真①】 電線、電柱の状況



【写真②】 電線、電柱の状況

